

BLUE FRONT SHIBAURA

〈PRESS RELEASE〉

水辺の可能性と都市の未来を考える「水辺に親しむシンポジウム&クルーズ体験」港区と共同開催 BLUE FRONT SHIBAURA 船着場を起点に運河と東京港を遊覧

野村不動産株式会社（本社：東京都港区/代表取締役社長：松尾 大作、以下「当社」）は、港区と共同で水辺空間の活用の可能性をテーマに「水辺に親しむシンポジウム&クルーズ体験」を 3 月 20 日（金・祝）に開催いたしました。

本シンポジウムでは清家愛港区長より港区の水辺の取組みについて「港区は都心にありながら運河や海に親しめる街です。誰もが歩き、憩い、楽しめる水辺を区民の皆様とともに育てていきたい。」とご挨拶がありました。また、基調講演では国内外の水辺活用事例などの紹介、後半は港区の水辺活用の可能性をテーマにしたトークセッションを来場者の皆様にもアンケートにご参加いただきながら港区の目指すべき「水辺を向いたまちづくり」について幅広い議論が行われました。また、BLUE FRONT SHIBAURA に整備した船着場「BLUE FRONT SHIBAURA PIER」からクルーズ体験も開催し多くの方々にご参加いただきました。



【当日の様子：左_水辺のシンポジウム、右_クルーズ体験（提供元：港区）】

1. シンポジウム開催内容

① 基調講演

- ・ 日本大学 理工学部 海洋建築工学科 助教 菅原 遼様
「国内外における水辺活用の取組と港区・高浜運河の賑わい創出実験」
- ・ 水都大阪コンソーシアム 事務局長 松井伊代子様
「水都大阪の取組について」
- ・ 広島県商工労働局イノベーション推進チーム 八巻 淳様
「地域住民、事業者等がともに取り組んできた広島県における地域に根差した水辺活性化の活動」

② トークセッション

- ・ テーマ 1 「港区の水辺活用の可能性」
- ・ テーマ 2 「水辺活性化にむけたポイント」

2. 参加者からのコメント（アンケート抜粋）

- ・ これからの水辺の活性化に期待しています。
- ・ 散歩やイベント体験など水辺での楽しみが増えるのは嬉しいことです。
- ・ とても一生懸命に水辺の活用について考えていることがわかりました。
これからの活動を楽しみにしています。
- ・ クルーズに惹かれて参加したのですが、講演会の内容がとても良かったです。
- ・ 普段見ることのない、自分のまちを海側から見ることができ、クルーズ体験は新鮮でした。
- ・ BLUE FRONT SHIBAURA の建物は美しく、デザインされた方のセンスの良さが伺えました。

3. 共同主催の港区担当者様から参加者の方へのメッセージ

「水辺に親しむシンポジウム＆クルーズ体験」へのご参加、誠にありがとうございます。

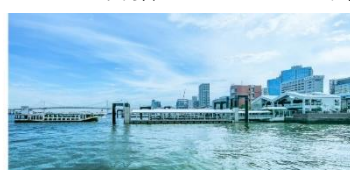
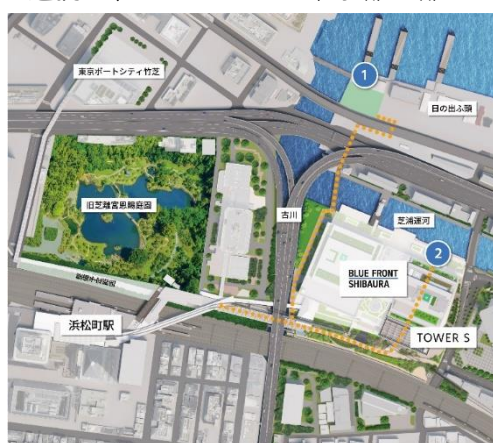
講演会では、水辺空間の活用（飲食、アクティビティ、水上クルーズ等）に関する事例や取組について紹介させていただき、参加者の皆さまには水辺活用の可能性について、魅力的に感じていただくことができたものと実感しております。また、野村不動産株式会社が新たに整備した船着き場「BLUE FRONT SHIBAURA PIER」から乗船し、運河・海域を巡るクルーズを体験いただきました。いつもとは違う視点から、港区のまち並みや水辺の風景を楽しんでいただけたと思います。

港区には、海、運河、河川等の水辺空間が点在しており、散策路や橋りょう、水辺の賑わい施設など、様々な場面で水辺に触れることができます。これを機に、散策や通勤の合間に水辺へ足を運んでいただき、ベンチで寛いでいただいたり、気軽に水辺を楽しんでいただければと思います。こうした水辺の魅力をもっと多くの方に知っていただき、日常の中で気軽に親しめる場所を創出できるよう取組んでまいります。

【参考情報：水辺のまちづくりの取組】

1) 舟運の取組

舟運ネットワークの取組として、当社は2019年に整備した日の出ふ頭小型船ターミナル「Hi-NODE」を運営しています。また、東京都の運河ルネサンス計画を活用し、2025年9月TOWER Sの開業と共に新たに芝浦運河沿いに整備した船着場「BLUE FRONT SHIBAURA PIER」（以下、「本棧橋」）を開業いたしました。また、2024年5月より東京都が推進する舟運活性化の取り組みのひとつである舟旅通勤^{※1}の実装に向けた補助制度に参画し、晴海～芝浦・日の出区間における舟運サービス「BLUE FERRY」^{※2}（以下、「本運航」）の運航を開始しております。今後、本運航における本棧橋の利用なども予定しております。駅からアクセスに優れた船着場を利用できることで、舟運をより日常的で利便な体験にしていきます。更に補助制度を活用し既存船舶にバリアフリー対応等の改修を行い、本運航での就航も予定しております。これらの取り組みを通じて、ステークホルダーの皆さまと連携し、ベイエリアと東京都心部をつなぐことを目指してまいります。



① Hi-NODE / 日の出船着場



② BLUE FRONT SHIBAURA PIER

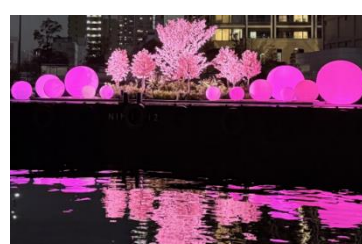
※1 「舟旅通勤」は(一社)水都創造パートナーズの商標となります。

※2 2024年5月9日 報道発表資料舟旅通勤[®]【BLUE FERRY（ブルーフェリー）】晴海～芝浦・日の出区間で5月22日(水)より運航開始
<https://www.nomura-re.co.jp/cfiles/news/n2024050902425.pdf>

2) 芝浦エリアマネジメントによる水上活用実証実験：地域資源「重箱堀」の活用

<https://www.shibaaura-area.jp/cms/html/topics/detail178.html>

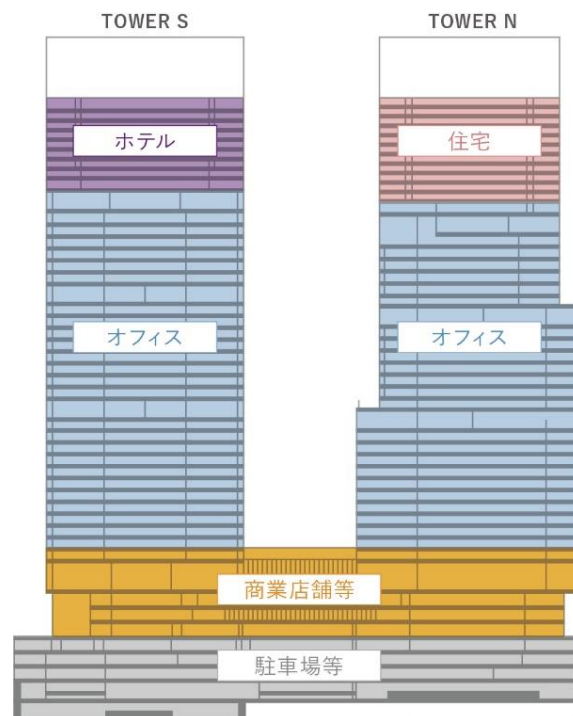
港区芝浦一丁目交差点の傍にある芝浦運河「重箱堀」は、大正2年に作られた石積護岸です。四角い形をしていることから重箱堀と呼ばれるようになったと考えられています。明治時代、重箱堀周辺はまだ海の中にあり、当時はこのあたりに都内で初めての海水浴場（レジャーではなく病氣治療や健康促進を目的としたもの）がありました。そのような芝浦の旧海岸線を伝える貴重な地域資源である「重箱堀」を賑わい空間として、水上インスタレーションを実施しました。当日は水上に浮かべた特設ステージに「桜」と「カラーボール」を装飾、日没時にはライトアップされ水面に映り込む桜とボールが織りなす普段は見るできない幻想的な景観を地域内外の方々に楽しんでいただくとともに将来の水辺活用の可能性を広げる機会となりました。今後も地域資源を活かした賑わいづくりに積極的に取り組んでまいります。



<参考情報>

.BLUE FRONT SHIBAURA(ブルーフロント芝浦)概要

事業主体	野村不動産株式会社 東日本旅客鉄道株式会社
施工者	TOWER S:清水建設株式会社 TOWER N:未定
設計者	株式会社榎総合計画事務所、清水建設株式会社 オーヴ・アラップ・アンド・パートナーズ・ ジャパン・リミテッド、株式会社日建設計
所在地	東京都港区芝浦一丁目1番1号 他
区域面積	約 47,000 m ²
延床面積	約 550,000 m ²
主用途	オフィス・ホテル・商業店舗・共同住宅・駐車場他
建物の最高高さ	約 230m
階数	TOWER S:地上 43 階 地下 3 階 TOWER N:地上 45 階 地下 3 階
着工 / 竣工	TOWER S:着工 2021 年 10 月 竣工 2025 年 2 月 TOWER N:着工 2027 年度 (予定) 竣工 2030 年度 (予定)



- ・ BLUE FRONT SHIBAURA WEB サイト (URL: <https://www.bluefrontshibaura.com/>)
- ・ BLUE FRONT SHIBAURA Instagram (URL: https://www.instagram.com/blue_front_shibaura/)

